

コンクリート橋の早期劣化機構の解明と材料・構造性能評価に基づく
トータルマネジメントシステムの開発

「塩害による劣化機構の解明と構造部材の材料・構造性能評価(WG1)」
活動実績報告会

1. 日 時：平成 29 年 3 月 14 日（火）10:00～12:30（9:30 より受付開始）
2. 場 所：金沢工業大学 扇が丘キャンパス（メインキャンパス） **5.101 大教室**
（住所：〒921-8501 石川県野々市市扇が丘 7-1、TEL：076-248-1100）
http://www.kanazawa-it.ac.jp/about_kit/ogigaoka.html ←L の受付から入館
定員を大幅に超えましたので、会場を変更します（2月14日）
3. プログラム（10：00～12：30）

10:00～10:02	開会の挨拶	[金沢工業大学 宮里心一]
10:02～10:20	北陸地域の道路橋の塩害に対する維持管理	[金沢工業大学 宮里心一]
10:20～10:35	各種コンクリートへのフライアッシュの適用について	[富山県立大学 伊藤始]
10:35～10:50	伸縮装置からの効率的な塩分供給遮断対策（RC 連結工法）	[中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株) 石川裕一]
10:50～11:05	乾湿繰返しにより析出した塩分によるコンクリートの物質移動への影響	[東京大学生産技術研究所 酒井雄也]
11:05～11:20	休憩	
11:20～11:35	打音法による道路橋コンクリート床版の劣化損傷検知に関する検討について	[佐藤工業(株) 北川真也]
11:35～11:50	リモートセンシングによる橋梁モニタリングの実証実験	[金沢工業大学 徳永光晴]
11:50～12:05	防錆剤と亜鉛を併用した塩害事後保全対策（複合防食工法）	[中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株) 青山寛伸]
12:05～12:20	塩害劣化した鉄筋コンクリートの力学性能と対策時期の違いによる補修効果	[金沢工業大学 花岡大伸]
12:20～12:30	閉会の挨拶	[金沢大学 鳥居和之（SIP 研究代表者）]

4. 定員： **300 名** ~~150 名~~

5. 参加費： 無料

6. 申込方法

申込先： 金沢工業大学宮里研究室 灘地由紀子 nadachi@neptune.kanazawa-it.ac.jp
TEL:076-274-7798 FAX:076-274-7102

記載事項： 参加者の所属、役職、氏名、メールアドレス、TEL 【書式自由】
（同一所属から複数人が参加する場合は、まとめて申し込んでも結構です）

【申込期限：平成29年3月7日(火)】